

勝手に決めるな「軍拡」「増税」！武力で平和は作れない

憲法フェスティバル

5月3日

憲法記念日 10:30~15:30
水戸市千波公園 はなみずき広場
○参加費無料 ○雨天決行／荒天中止

【テント交流企画】 10:30~12:00

9条の会交流会／国民救援会／原発 NO
沖縄・平和パネル展／核兵器廃絶 など

【ステージ】 12:00~

水戸工業高校ジャズバンド BLUE BEGINNERS

水戸藩YOSAKOI連

ヒューマンファーマーズ

【特別企画】 13:00~

『戦争する国』づくりと憲法
~私たちにできること~



いとう まこと

伊藤 真 弁護士

(伊藤塾塾長 日弁連憲法問題対策本部副本部長)

広場企画は一日楽しめます♪

模擬店・沖縄物産展・フリマ・など

大募集中!

★憲法川柳 ★9条絵手紙
〆切は4月20日です♪
※詳細は下記事務局まで。



主催：2023年 憲法フェスティバル実行委員会 代表：田村 武夫

事務局 〒310-0062 水戸市大町 3-1-24 はばたきビル 弁護士法人水戸翔合同法律事務所 気付
TEL:029-231-4555 FAX:029-232-0532 E-mail:kenpou_ibaraki@yahoo.co.jp twitter:KenpouIbaraki
HP: <http://kenpou-ibaraki.jimdo.com/> (憲法ネットいばらき HP 内)

この集いは、「九条の会」アピールに賛同して開催され、団体・個人の賛同金によって運営されます。



2023年 憲法フェスティバルへのお誘い

私たちは戦争を絶対に起こさせたくありません。自分はもちろんのこと、自分の家族や友人といった大切な人たちに、命を落としてほしくないからです。

死の恐怖や不安に日々おびえることなく、最後まで平和のうちに生きていきたいからです。

もちろん、平和を守り維持することは簡単なことではありません。平和は、言語も価値観も違う人たちと連帯して作り上げる「全世界的な共同プロジェクト」だからです。

では、ここで質問です。

「反撃能力」（敵基地攻撃能力）を保有することで、本当に戦争の脅威はなくなるのでしょうか。

言語も価値観も違う人たちと連帯することが可能になるのでしょうか。

平和を守り維持することができるのでしょうか。

私たちの答えは、すべて、「NO！」です。

「勝手に敷かれたレールに乗っていたらいつの間にか戦争突入」なんて、私たちは絶対に嫌です。

勝手に決めるな「軍拡」「増税」！

武力で平和は作れない

これは私たちの心の底からの叫びです。

今回の記念講演には、憲法の伝道師こと伊藤真弁護士をお迎えします。テーマは『戦争する国』づくりと憲法。私たちにできること。です。

平和を守るにはどうしたらいいのか、5月3日憲法記念日に私たちと一緒に考えませんか。多くの団体・個人の皆様のご賛同を心から呼びかけます。

ぜひ新緑の千波湖畔にお誘い合わせてお越しください。

出演者紹介

●水戸工業高校ジャズバンド BLUE BEGINNERS●

県内外の様々なコンサート・イベント等に多数出演。ジャズ、フュージョン、ラテン、ポップスから演歌まで幅広い楽曲を披露。2017年6月にはアメリカ公演（グレン・ミラーフェスティバル）、2018年には日中友好40周年で中国・青島公演も経験♪

●水戸藩 YOSAKOI 連●

2001年9月発足。年間を通じて県内外のお祭りやイベントに精力的に参加。2019年常陸国YOSAKOI祭大賞受賞ほか受賞歴多数。躍動感あふれる楽しい演舞に大盛り上がり。必見です！！



【ゲスト プロフィール】

伊藤 真 弁護士

（伊藤塾塾長 日弁連憲法問題対策本部副本部長）

1958年生まれ、東京都出身。伊藤塾（法律資格の受験指導校）を主宰。1981年司法試験合格。その後、真の法律家の育成を目指し、司法試験の受験指導にあたる。「憲法を知ってしまった者の責任」から、日本国憲法の理念を伝える伝道師として、講演・執筆活動を精力的に行う。

2009年7月、「一人一票実現国民会議」の発起人となり、日本に真の立憲民主主義を実現すべく弁護士として奮闘中。

また、2014年5月、憲法学者や元政府関係者らとともに「国民安保法制懇」を立ち上げ、2015年9月には、弁護士有志と「安保法制違憲訴訟の会」を立ち上げる。

NHK「日曜討論」「仕事学のすすめ」等マスコミなどにも多数登場。専門書、一般書著書多数

憲法川柳・9条絵手紙募集要項

テーマは憲法・平和。 〆切4月20日

※今年は 表彰・発表・講評 はありません。

* 憲法川柳

「憲法川柳応募」と明記のうえ、郵便（ハガキ可）・FAX・メールにて事務局宛に（表面参照）ご応募ください。複数投稿可（1人5句まで）。

* 9条絵手紙

デザインはオリジナルに限ります。製作方法は自由。データではなく作品化したものを事務局宛にお送りください。

★★詳細は事務局にお問い合わせください。★★

2023年5.3 憲法フェス関連企画

映画「テレビで会えない芸人」を上映します

- ◆実施日/2023年5月7日(日)
- ◆会場/ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール
- ◆上映作品/テレビで会えない芸人
- ◆上映時間/午後2時30分～
- ◆入場料金/一般前売券1,100円
(当日券:一般1,400円, 学生1,000円, 小中学生500円) ※3月6日発売開始
- ◆主催/「テレビで会えない芸人」を上映する会・茨城映画センター内(☎029-226-3156)
- ◆共催/憲法フェスティバル実行委員会・はばたき友の会

2023年憲法フェスティバル実行委員会 (2023.3 現在)

【構成団体】 憲法ネットいばらき・九条の会茨城県連絡会・茨城県平和委員会・憲法9条の会つくば・茨城労連・茨城県母親大会連絡会・茨高教組・茨城自治労連・いばらきコープ労組・新婦人茨城県本部・茨商連・茨城民医連・茨城県区労連・国民救援会茨城県本部・茨城県原水協・茨城農民連・原研労組・茨城センター合唱団・茨城AALLA・茨城年金者組合

2023年憲法フェスティバル 賛同のお願い

勝手に決めるな「軍拡」「増税」！ 武力で平和は作れない

新型コロナウイルスの影響により、2年続けて屋内集会を実施してきた憲法フェスティバルですが、今年は3年ぶりに「水戸市千波公園 はなみずき広場」において屋外集会を開催することになりました。伊藤真弁護士をメインゲストに『「戦争する国」づくりと憲法～私たちにできること～』と題して講演いただきます。他にもテント交流企画やステージ企画が目白押しです。ぜひお誘いあわせてご参加ください。

岸田内閣は昨年末に安保3文書の改訂を閣議決定しました。他国に脅威を与える「敵基地攻撃能力」の保有や「軍拡」「増税」を決めたものであり、戦争への歩みを進める危険な内容のものです。

「GNPの2%」「5年間で43兆円」などという膨大な軍事費を国会にはかることもなく決めて、まずはアメリカ大統領に報告に行きました。

さらなる増税か、くらしの予算の削減が迫っています。

“勝手に敷かれたレールに乗っていたらいつの間にか戦争突入”、そんな道を進みたくはありません。

勝手に決めるな「軍拡」「増税」！ 武力で平和は作れない
これは私たちの心の底からの叫びです。

平和を守るにはどうしたらいいのか、5月3日憲法記念日に私たちと一緒に考えませんか。多くの団体・個人の皆様のご賛同を心から呼びかけます。

団体1口3000円(1口以上)、個人1口1000円の賛同募金のご協力をお願いします。

2023年憲法フェスティバル実行委員会 代表 田村 武夫
連絡先 〒310-0062 水戸市大町3-1-24 はばたきビル
Tel029-231-4555 Fax029-232-0532

切り取り線

賛同申込書

おなまえ	ご住所	電話	賛同費

茨城県内平和団体・労働団体・民主団体・個人の皆様

5・3憲法フェスティバル「第10回 9条絵手紙展」作品募集要項

2023年 憲法フェスティバル実行委員会

毎年憲法フェスティバルへのご協力ありがとうございます。

今年は久しぶりの屋外開催の憲法フェスティバルとなります。憲法9条や平和への思いを目に見える形で表そうという意味を込めて、毎年好評の「9条絵手紙展」を下記の要綱で実施することと致しました。是非多数のご応募をお願いいたします。

当日は、テントコーナーを設けて展示させていただきます。

なお、応募作品の著作権は主催者に所属し、作品は返却しませんのでご了承ください。

1. 絵手紙の大きさ・内容

大きさ…葉書大。手描き、版画、貼り絵など制作方法は自由。

内 容…9条と平和がテーマのもの。

2. 応募の手続き

①方 法

郵送、メール便、または直接持参

「水戸翔合同法律事務所」までお届け下さい。

※絵手紙の裏面又は別紙に氏名・住所・連絡先をご記入願います。

②応募期間

2023年3月23日（木）～4月20日（木）※必着

③応募先住所

〒310 - 0062

茨城県水戸市大町3-1-24 はばたきビル 水戸翔合同法律事務所内
憲法フェスティバル実行委員会

④問い合わせ先

水戸翔合同法律事務所 内

5. 3憲法フェスティバル実行委員会 事務局宛

mail : kenpou_ibaraki@yahoo.co.jp

電話 : 029 - 231 - 4555

第13回 茨城憲法川柳大会

—作品募集のごあんない—

主催 2023年5・3憲法フェスティバル実行委員会

5・3憲法フェスティバル実行委員会は、日本国憲法を大切にし、基本的人権・平和・民主主義のいっそうの実現をめざして、5月3日憲法記念日に広く県民の交流と憲法学習の集いを開催するという趣旨に賛同した諸個人と社会諸団体が参加している団体です。

2010年から始まったこの憲法川柳大会は今年で13回目の開催となりますが、これまでも多数の応募があり、大変好評です。今年も、世相を抉る至芸といわれる川柳のもつ豊かな存在感に触れ、感動を共有するため、小学生から一般まで、幅広く全県から作品を募集することにしました。以下に募集要領を記載しましたので、是非多数のご応募をお願いいたします。

◆茨城憲法川柳 作品募集要領◆

[募集期間] 2023年3月23日(木)～4月20日(木) ※必着

[応募要領] * 作品の題材は、日本国憲法を大切にし、人権・平和の尊さを訴えるもの。

- 応募料 無料
 - お願い 応募封筒、ファックス、メール件名に「憲法川柳」応募と明記のこと。
 - その他 複数投稿も可。ただし、1人5句までの投稿とさせていただきます。
 - 応募方法
 - ◇郵送、ファックス、またはメール(下記のメールアドレス)で投稿ください。(楷書で丁寧にご記入ください。)
 - ◇氏名(ふりがな)・年齢・自宅の郵便番号・住所・電話番号も書いてください。
 - ◇雅号があればご記入ください。入選された場合、雅号で掲載いたします。
 - ◇小・中・高校生の場合は学年も書いてください。
- ※情報は、文字の確認や景品の発送にのみ使用させていただきます。

[送付先及び問合せ先]

〒310-0062

茨城県水戸市大町3-1-24水戸^{はばたき}翔合同法律事務所気付

5・3憲法フェスティバル実行委員会事務局

Tel: 029-231-4555 Fax: 029-232-0532

E-Mail: kenpou_ibaraki@yahoo.co.jp

※今年は展示のみとなるため入選句の発表・表彰・講評はございません。

※優秀作においては別刷りでプログラムとともに配布いたします。

立川談志に愛され、
永六輔に託された

2020年
日本民間放送連盟賞
最優秀賞
第58回
ギャラクシー
優秀賞
第47回
放送文化基金賞
優秀賞
第29回
FNSドキュメンタリー大賞
グランプリ

テレビで会えない芸人

出演——松元ヒロ

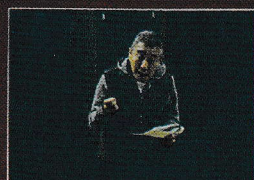
監督:四元良隆 | プロデューサー:阿武野勝彦
撮影:鈴木哉雄 | 編集:牧祐樹 | 音響効果:久保田吉根 | 音楽:吉俣良
制作:前田俊広 | 山口修平 | 金子貴治 | 野元俊英 | 崎山雄二 | 荒田静彦 | クレジットアニメーション:加藤久仁生
製作:鹿児島テレビ放送 | 配給:東風 | 2021年 | 81分 | 日本 | ドキュメンタリー | ©2021 鹿児島テレビ放送

tv-aenai-geinin.jp

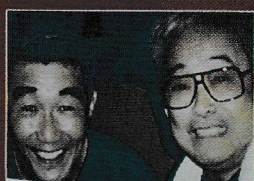
T2
NEXT

テレビで会えない芸人——その生き方と笑いの哲学から、
 いまの世の中を覗いてみる。モノ言えぬ社会の素顔が浮かび上がる。

芸人、松元ヒロ。かつて社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」で数々の番組に出演し人気を博した。しかし90年代末、彼はテレビを棄て、主戦場を舞台に移す。政治や社会問題をネタに笑いで一言モノ申す。ライブ会場は連日満席、チケットは入手困難。痛快な風刺に、会場がどっと笑いで包まれる。しかしそれだけではない。松元ヒロの芸には、不思議なやさしさがある——



松元が20年以上語り続ける『憲法くん』は、日本国憲法を人間に見立てた演目。井上ひさしが大絶賛し、永六輔は「ヒロくん、9条を頼む」と言い遺した。その芸は、あの立川談志をしてこう言わしめた。「最近のテレビはサラリーマン芸人ばかり。本当に言いたいことを言わない。松元ヒロは本当の芸人」。けれど、いや、だからこそ、いまテレビで彼の姿を見ることはない……。

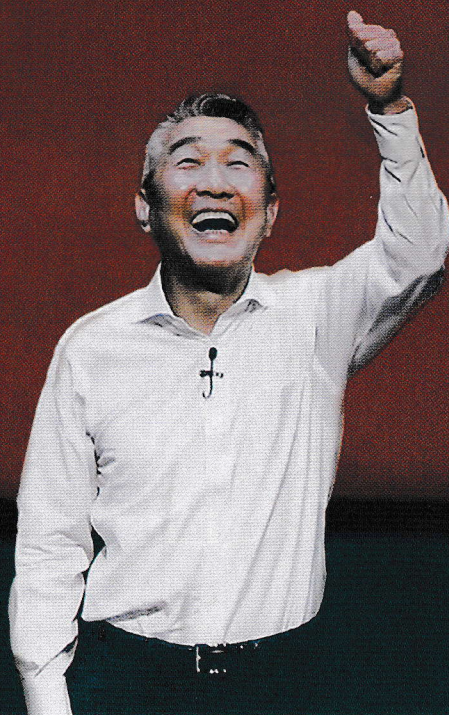


そんな今日のメディア状況に強い危機感を募らせていたのは、松元の故郷鹿児島県のローカルテレビ局。2019年の春から松元ヒロの芸とその舞台裏にカメラが張りついた。監督は鹿児島テレビの四元良隆と牧祐樹。プロデュースを手掛けたのは『ヤクザと憲法』『さよならテレビ』などの衝撃作を世に送り出してきた東海テレビの阿武野勝彦。なぜ松元ヒロはテレビから去ったのか？なぜテレビは松元ヒロを手放したのか？そして本作はその答えを見つけられたのか？

tv-aenai-geinin.jp

fb.com/tv.aenai.geinin

@tv_aenai_geinin



永六輔は「芸人氣質」とは「職人氣質」同様、心意気あつての生き方から来る」と言っていました。父が松元ヒロさんに「憲法九条をよろしく」と言い遺した理由が、劇場版ではよりはっきりと分かります。——永麻理（フリーアナウンサー・エッセイスト）

この人のやって来たことは言論の自由と言うことだと思ふ。絶えて久しい：言論の自由。——鈴木敏夫（スタジオジブリ・プロデューサー）

こんなにも饒舌で話術に長けた人間味豊かなパントマイマーを私は知らない。——立川志の輔（落語家）

芸人もメディアも、権力の飼い犬でなく、弱者の番犬となれ。——望月衣塑子（東京新聞記者）

ヒロさんの生き様と覚悟を、メディアに携わる私たちがこそが学ばねばならない。

◆日時／ 2023年 5月7日(日) 午後2:30開会（開場は30分前）
 ◆会場／ 県民文化センター小ホール(ザ・ヒロサワ・シティ会館)
 ◆入場料／ 前売券 1,100円(当日券・一般1,400円、学生・障がい者1,000円、小・中生500円)
 「はばたき友の会招待券」「茨城映画センター共通前売券」をご利用いただけます。

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、京成百貨店、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット
 ◆主催／ 映画「テレビで会えない芸人」を上映する会 (TEL029-226-3156・茨城映画センター内)
 ◆共催／ 2023憲法フェスティバル実行委員会、はばたき友の会 (☎029-231-4555・水戸翔合同法律事務所内)

PassMarket